

「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）」との連携協定を締結

～京都工学院高校が「宇宙航空教育の拠点校」に～

- 現在、洛陽工業と伏見工業を統合・再編し、来春に開校する「京都市立京都工学院高校（以下、新校）」の開校準備を進めています。
- 新校では、理工系大学を目指す進学型専門学科の「フロンティア理数科」と工業科の「プロジェクト工学科」を設置し、学んだ知識・技術で社会に貢献する教育活動をコア科目に据え、日本の科学技術をリードする人材育成を目指します。
- こうした中、本市教育委員会は世界レベルで先進的な技術開発を推進される「宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）宇宙教育推進室」と「宇宙航空教育」を推進するための連携協定を締結することになりました。
- この連携協定により、JAXAは新校を「宇宙航空教育の支援モデル校」に指定するとともに、今後は市立小・中学校、総合支援学校への授業や青少年科学センター事業、また総合教育センターの教員研修など幅広い支援をいただくことになりました。

1 協定締結式について

- (1) 日 時： 平成27年12月15日（火）15時から（1時間程度）
- (2) 場 所： 教育委員室（京都市役所本庁舎4階）
- (3) 出席者：【教育委員会】京都市教育長 在田正秀，京都工学院高校学校長 砂田浩彰
【JAXA】JAXA宇宙教育推進室長 桜庭望，宇宙教育推進計画マネージャ 佐々木薫，宇宙教育推進室主任 八木岡洋一

2 締結式・次第

- (1) 出席者紹介 (2) 教育長，宇宙教育推進室長挨拶
- (3) 連携協定の概要説明 (4) 連携協定書の調印 (5) 写真撮影

3 主な協定内容

- (1) JAXA宇宙教育センターの「宇宙教育プログラム」により、生徒が身近な自然の事象に関心を持ち、観察・実験等により解決を図り、自然について理解を深めるとともに、科学的なものの見方，考え方を身に付けることを目指す。
- (2) さらに理科だけでなく幅広い教育活動において学習意欲を喚起することを目指すとともに、それを協働して推進する指導者の啓発を行う。

<具体的な支援>

学校教育 … 市立小・中学校，高校，総合支援学校の教職員等との連携による授業支援
社会教育 … 市内の青少年及び保護者等を対象とした学習支援
研修活動 … 教職員等を対象とした研修支援

- (3) 京都工学院高校「JAXA ミッション解決型学習」… **別紙**を参照。

「宇宙の魅力を小・中学生に伝えよう」というミッションを受け，JAXA職員や大学教員等の指導助言のもと，生徒たちがテーマ別のグループに分かれてPBL（課題解決型学習）を行い，最終的に小・中学生向け（総合支援学校生を含む）の公開研究発表「宇宙教室」を実施していく予定。

京都工学院高校の「JAXAミッション解決型学習」のモデル例（検討案）

平成28年度

1～3月

JAXA 市立高校教員研修（宇宙を教育素材として活用するためには？）

4月

京都工学院高校の開校

5月

JAXA・教員による特別授業（工学院の生徒へ宇宙の魅力・面白さを講義）

ミッションの提示「宇宙の魅力を地域の小・中学生（総合支援学校生を含む）に伝えよう！」

6～12月

生徒グループによる課題解決型学習（PBL） ※6ヶ月程度

- グループⅠ：「太陽や月の魅力と役割について研究しよう」
- グループⅡ：「星の不思議と魅力について研究しよう」
- グループⅢ：「人工衛星の開発と今後の役割を知ろう」 etc

JAXA



研究 → 検証 → まとめ → 発表



大学

11～12月

募集活動（小・中学校・総合支援学校の訪問・Web発信など）

1月

小・中学生（総合支援学校生を含む）を対象とする「宇宙教室」の開催（成果発表・意見収集）

1～2月

フィードバック学習（アンケート分析・成果検証）

3月

研修旅行【JAXA 筑波宇宙センター，相模原キャンパス】（事業報告・評価）

実施の対象となる授業（検討中）

プロジェクトZERO（1年）

プロジェクト・ゼミ（2年）

フロンティア地学（2年）

土曜学習（1・2年）

科学Cと連携した企画も検討